

# にいがた 畜産協会たより

公益社団法人  
新潟県畜産協会

新潟市西区山田字堤付2310-15  
全農にいがた第2ビル内  
TEL. 025-234-6781  
~6783



## 特集 クラスター事業機械導入事例!!



JA全農にいがたが県中央家畜市場で和牛素牛の初セリ [関連記事 4 ページ]

### 目次

- ◆ 収益性の向上を目指して  
～クラスター事業機械導入事例～ ……(2)
- ◆ 新企画 ちくさん女子の窓 ……(4)
- ◆ 県中央家畜市場で和牛素牛の初セリ ……(4)
- ◆ 養豚農場PRRS撲滅対策支援事業2年目!!  
～PRRSを撲滅し清浄化を達成しましょう!～ ……(5)
- ◆ イベントコーナー ……(6)
  - ・ 第20回協同組合まつり
  - ・ ふれあい畜産フェスタ2018
  - ・ 畜産経営セミナー & 優秀畜産表彰会
- ◆ 声のコーナー ……(7)
  - 「酪農にふれて」  
酪農経営：新発田市 宮野 一香
  - 「目指す姿」  
JAえちご上越畜産担当 塚田 玲
- ◆ 畜産安心ブランド生産農場だより ……(8)  
新発田市 小野 洋平
- ◆ 新役員紹介 ……(8)
- ◆ にいがた和牛15周年キャンペーン開催中 (8)
- ◆ 編集後記 ……(8)

# 収益性の向上を目指して ～クラスター事業機械導入事例～

当協会は、畜産クラスター計画に位置付けられた中心的な畜産経営体が収益性の向上に必要な機械装置の導入申請等を行う際の窓口業務及び新潟県畜産クラスター協議会の事務局運営を行っています。特集では技術成績の改善や労働力の軽減など導入効果が表れている事例を紹介します。

## 1 搾乳ユニット（中越地域：酪農経営）

### 【導入目的】

作業時間の短縮による労働力の軽減

### 【導入価格及び補助金】

税込価格10,260,000円、うち補助金4,750,000円

### 【導入効果】

搾乳時間30分短縮、乳房炎減少による体細胞数の改善（40.3万個→19.5万個）

### 【経営者の声】

作業が楽になり、牛の病気も減りました。自動離脱なので、安心してヘルパーさんに任せられ、気持ち的にも余裕ができました。



搾乳ユニット  
（自動離脱、ミルクメーター、キャリアレール）

## 2 自動給餌機（下越地域：酪農経営）

### 【導入目的】

適正給与による生産乳量と販売額の増加

### 【導入価格及び補助金】

税込価格4,212,000円、うち補助金1,950,000円

### 【導入効果】

生乳販売額の大幅な増加

### 【経営者の声】

自動で飼料給与量をコントロールしてくれるので、個体毎に細かく管理できています。飼料ロスがないので、生産コストも削減できました。



自動給餌機

## 3 マニユアスプレッタ（下越地域：肉用牛経営）

### 【導入目的】

作業時間の短縮による自家労賃の削減

### 【導入価格及び補助金】

税込価格3,693,600円、うち補助金1,710,000円

### 【導入効果】

堆肥散布作業年間約80時間の短縮

### 【経営者の声】

今までは手作業でしたが、機械散布になったことで時間の短縮を図ることができるとともに、身体的負担がだいぶ軽減されました。堆肥散布に使っていた時間を有効に使えるので、個体管理・観察の強化や畜舎環境の改善にもつながっています。



マニユアスプレッタ

#### 4 ホイルローダー（中越地域：養豚経営）

##### 【導入目的】

ふん尿処理、堆肥生産作業の機械化による自家労賃の削減

##### 【導入価格及び補助金】

税込価格7,344,000円、うち補助金3,400,000円

##### 【導入効果】

堆肥生産作業年間約600時間の短縮

##### 【経営者の声】

キャビン付きで天候を気にせず作業ができることと、バケットが大きいので、堆肥生産に掛かる時間を大幅に短縮することができました。操作も簡単なので、若手従事者にも好評です。



ホイールローダー

#### 5 高圧洗浄機（中越地域：養豚経営）

##### 【導入目的】

豚舎清掃作業の機械化による自家労賃の削減

##### 【導入価格及び補助金】

税込価格504,360円、うち補助金233,500円

##### 【導入効果】

豚舎清掃作業年間約800時間の短縮

##### 【経営者の声】

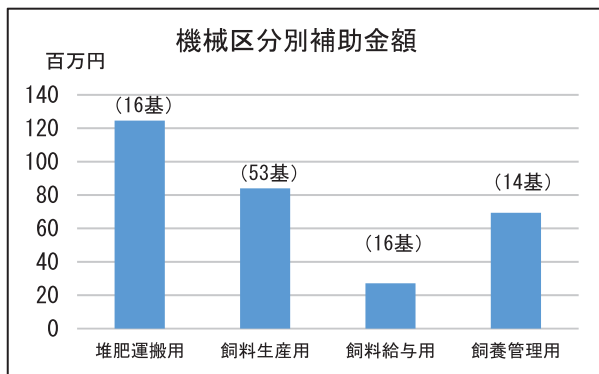
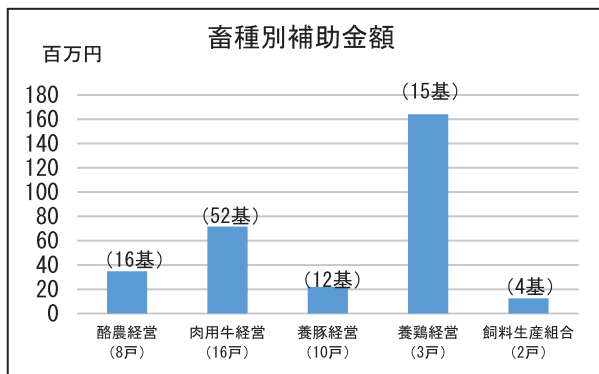
今までは手作業で清掃していました。高圧洗浄機は水圧が強く洗浄力が高いので、作業時間を大幅に短縮できました。



高圧洗浄機

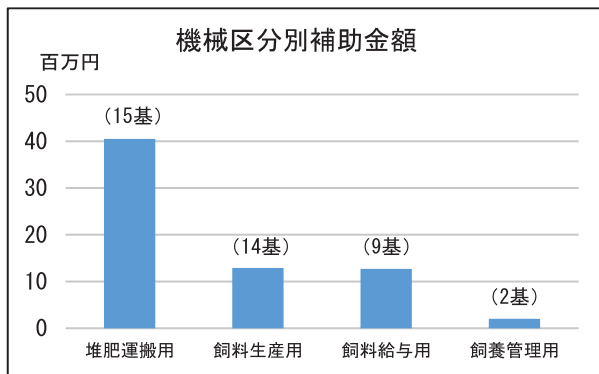
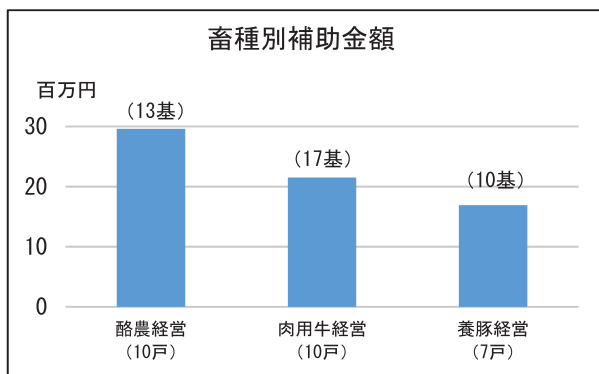
#### 【参考1】平成29年度までの補助金額

総額305百万円（機械数99基）の補助金が配分されました。



#### 【参考2】平成30年度配分予定補助金額

要望額調査に係る配分予定補助金額は総額68百万円（機械数40基）で通知を受けました。



事務局：佐藤紫織

畜産に携わる若手女性が立上げた「にいがた畜産女子会」（事務局：（公社）新潟県畜産協会）は、平成30年9月で1周年となりました！当初の会員は18名でしたが、9月末日現在で23名となり、畜産女子の輪が広がりつつあります。

そんな「にいがた畜産女子会」の魅力を伝えるため、協会たよりに「ちくさん女子の窓」を開設しました。会員や事務局員の近況を紹介しながら、会の活動や畜産の情報などをお届けしますので、ぜひチェックしてください。

初めてとなる今回は、事務局員の私、佐藤紫織さとうしおが担当させていただきます。

私は平成21年度に畜産協会に入会、今年で9年目です。主に肉用牛に関する事業を担当しています。

協会に入ったばかりの頃は、畜産関係者は年上の男性が多く、ちょっと寂しい思いもしましたが、女子会の活動をするようになってからは、「畜産にはこんなに元気な女性がいっぱいいるんだ！」と、とても嬉しくなりました。

「にいがた畜産女子会」の魅力の一つは、地域や畜種を越えて、県内の畜産女子がつながれることです。会の活動を通して、もっと色々な方とつながれたらと思いますので、「にいがた畜産女子会」に興味のある方はぜひ、事務局までご連絡ください！



にいがた畜産女子会事務局の佐藤です。  
これからもよろしくお願ひします！

## 県中央家畜市場で和牛素牛の初セリ

9月27日（木）、J A全農にいがた県本部主催の素牛市場が長岡市上前島の新潟県中央家畜市場で開催されました。

上越家畜市場から場所を移しての開催で、会場には多くの生産者、購買者及び関係者等が集まり、活気のある市場となりました。

県のほぼ中央部に位置する市場であり、高速道路のインターチェンジが近いのでアクセスも良く、特に下越地域の生産者においては搬送時間が大幅に短縮されました。

そこで、下越地域から子牛を上場した生産者に中央家畜市場での初セリについて感想をお聞きしました。

### 【生産者の感想】

- ・ 交通の便が良くなりました。1時間以上違うと子牛のストレスも軽減されるようで、いつもより元気な気がします。
- ・ 朝の作業をしてからでも間に合うので助かりました。
- ・ 初めての施設なので、使い勝手など戸惑いでしたが、慣れれば大丈夫だと思います。
- ・ セリ場が上越市場より狭くて混雑しているので、屋外にも電光掲示板があれば大勢の人が見られていいかな。



セリを待つ子牛たち

# 新潟県単独事業「養豚農場PRRS撲滅対策支援事業」2年目!!

～ PRRSを撲滅し清浄化を達成しましょう!～

## ○PRRSとは?

豚繁殖・呼吸障害症候群（PRRS）は繁殖豚の流産や子豚の呼吸器病を引き起こすウイルス病の豚の疾病で、被害が大きいことから、届出伝染病に指定されています。県内では子豚の発育不良等で、年間3億円の被害が生じていると試算されています。

ウイルス病であり、治療方法はなく、ワクチン接種の予防しか方法はありません。しかし、子豚時には細菌やマイコプラズマ等、呼吸器病の原因は多く、また複合的な感染様式なことから清浄化は困難とされてきました。

## ○養豚農場PRRS撲滅対策支援事業とは?

しかし、新潟県下越家畜保健衛生所村山副参事らによりワクチンを用いて清浄化できる方法とその検査方法が確立出来たことから、新潟県全域での取組が平成29年度から開始されました。

事業開始前の平成28年現在、県内養豚場123農場中42農場（34%）がPRRS陽性で、うち一貫経営の36農場（母豚4,400頭飼養）が事業対象農場です。

計画としてはその36農場を2年ずつ、第一次は平成29～30年度22農場、第二次は平成30～31年度14農場の子豚にワクチン接種するもので、ワクチン費用の2分の1以内を補助します。当協会が事業主体となり、予算額は平成29年度7,700千円、平成30年度15,000千円、平成31年度7,300千円の合計30,000千円の県単独事業です。

## ○平成29年度の事業成績

平成29年度事業成績では、21農場中15農場で51,157頭にワクチンが接種され、ワクチン代6,263,685円が補助されました。

接種農場では平成28年度に15農場中11農場で野外PRRSウイルスが、1農場からワクチンウイルスが分離され、平成29年度では5農場から野外ウイルスが、9農場からワクチンウイルスが分離されました。平成28年度の事故率は11農場で8.3%（3～14.0）でしたが、29年度末では7.2%（1～17.9）と減少しました。出荷日齢は28年度では11農場で188.3日（150～280）でしたが、29年度末で180.4日（140～250）

と短縮し、生産性の向上が認められました。また、平成29年度末に1農場がPRRS清浄化を達成しました。

## ○【新潟県版PRRSワクチン接種を対象とする農場の条件】

生ワクチンを接種する清浄化方式であることから口腔液を主体としたモニタリング検査を頻回実施し、下記条件を満たす農場から順次ワクチンを開始します。①農場におけるウイルス動態が把握できていること、②繁殖豚群が免疫的に安定していること（いわゆる「ピンク」の状態）、③哺乳豚への野外感染がないこと、させないこと、④ワクチン接種が3週齢以上で接種できること、⑤ワクチンテイクするまで野外感染をさせないこと、⑥バイオセキュリティが出来ていること、⑦生産者にやるという強い意思があること。

県家畜保健衛生所の強い指導力の下で成果を上げ、県内からPRRSを撲滅し、清浄化を達成しましょう!!

## PRRS養豚講演会のお知らせ

- と き 平成30年10月31日（水）  
午後1時30分～4時
- と ころ 新潟県自治会館201会議室
- 講 師 ㈱スワイン・エクステンション&コンサルティング  
代表取締役 大竹 聡 先生
- 内 容 「PRRS撲滅対策  
～撲滅の意義と清浄性の維持～」
- 話題提供 「養豚農場PRRS撲滅対策事業について  
～その成果と効果～」  
新潟県下越家畜保健衛生所  
企画指導課副参事 村山 修吾 先生
- 申 込 み 当協会まで（参加無料）  
T E L : 025-234-6783  
F A X : 025-234-7045  
E-mail : eisei@ae.wakwak.com

※ お早めに申し込んでください。

# イベントコーナー

## 第20回協同組合まつりに参加します

◇ご来場をお待ちしております。◇

当協会は、消費者の皆様には畜産を理解いただき県産畜産物の消費拡大を推進することを目的に、「第20回協同組合まつり」（主催：新潟県協同組合間連携推進協議会〔事務局：県農業協同組合中央会〕）に昨年に引き続き参加（出展）します。

今年も新潟の畜産をしっかりと宣伝したいと考えております。ブースは昨年と場所を変え、広さも約3倍となりました！いろいろな楽しい催し物を用意して皆さんのお越しを心よりお待ちしております。

ご来場の際は、ぜひお立ち寄りください。

- と き：10月21日（日）9：30～15：30
- ところ：新潟市産業振興センター  
（新潟市中央区鐘木185-10）

### ○当協会の出展の内容

- ・スローガン  
「魅力発見！ 大好き！！ にいがたの畜産」
- ・出展内容
  - ① 「にいがた畜産女子会」メンバーの畜産物や六次産業商品の紹介
  - ② 県産畜産物の安全・安心の取組み「畜産安心ブランド生産農場」の認定制度を消費者にPR
  - ③ 県産畜産物のブランド「にいがた和牛」の紹介

### ○主な出展団体と内容

- ・主な出展団体  
JAグループ新潟、県酪連、県民コメまつり、県森林組合連合会、県漁連・新潟漁協、県生活協同組合連合会
- ・各ブースでのイベント内容  
県産農畜産物等の試食・販売  
クイズ・アンケートの実施により粗品進呈  
こども対象ゲーム、木工教室、ほか多数

### ○ステージイベントの内容と開始時間

- 10：00～協同組合PRコーナー①
- 10：30～ワンワンとあそぼうショー①
- 11：20～RYUTistライブショー①
- 12：00～お楽しみチャリティーオークション
- 13：40～RYUTistライブショー②
- 14：10～協同組合PRコーナー②
- 14：30～ワンワンとあそぼうショー②

## ふれあい畜産フェスタ2018にご来場ください

平成30年10月13日（土）に新潟ふるさと村（新潟市西区山田2307）で「ふれあい畜産フェスタ2018」が開催されます。ステージイベントや畜産物加工体験、畜産物販売や家畜とのふれあい体験の他、当協会が事務局を担うにいがた和牛推進協議会も出展し、にいがた和牛の精肉を販売しますので、会場にお越しの際はぜひお立ち寄りください！



前回（2017）の様子

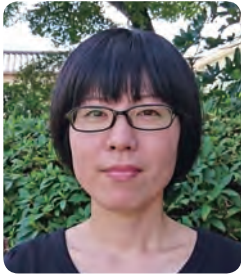
## 畜産経営セミナー&優秀畜産表彰会の開催

平成30年11月6日（火）、JA全農にいがた県本部ビルにて畜産経営者、畜産関係機関・団体の職員等を対象として、畜産経営セミナー・優秀畜産表彰会を開催します。

セミナーは、元山形大学農学部教授の吉田宣夫先生に飼料用米の利用に関する講演をしていただきます。

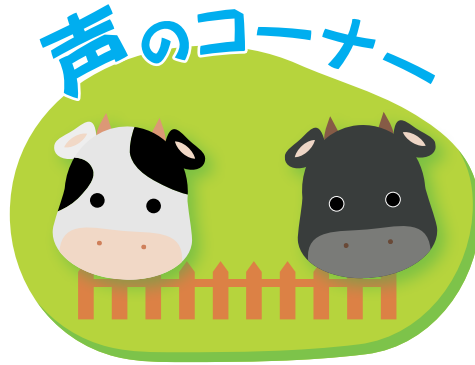
優秀畜産表彰会は、9月18日の審査委員会で優秀賞に決定した江部広太さん（柏崎市・酪農経営）の表彰及び事例発表を行います。

- 申込方法等については、当協会のホームページに掲載しています。



酪農経営

新発田市大友  
宮野 一香



JA職員

えちご上越  
農業協同組合  
畜産担当  
塚田 玲



## 『酪農にふれて』

「牛ってこんなに大きくて、こんなに温かいんだ！」

これはおそらく、幼い子どもでも当たり前のように知っていることかもしれません。ですが私は、夫の実家で、家業である酪農の仕事に就いた時に初めて、この事に気がつきました。私はこれまで、知り合いに畜産農家がいったり、近くで牛を見たり触ったりという経験もなく過ごしてきました。そんな中、昨年4月に新発田市に引っ越し、酪農の仕事に携わるようになり、義父母、夫に、牛床の掃除の仕方、搾乳の仕方など一から教えてもらい少しずつ仕事を覚えてきました。さらに、地域の方々や周りの酪農家の方々も温かく迎え入れてくださり、おかげで充実した日々を送っています。

新しい事に会う、経験するということは私に楽しみをもたらしてくれます。その中でも特に、初めて出産に立ち会えた時はとても感動しました。だんだんと息苦しそうにしてくる母牛。それを落ち着いた様子で見守る義父母と夫。三人はいつも通り、それぞれの作業に当たりながら、しかし十分に注意を向けていました。その中で私は一人、「大丈夫かな?」「苦しくないかな?」とそわそわしながら過ごしていました。幸いにもその時は特別な介助もいらず、無事に子牛が産まれてきました。子牛はとてもかわいらしく、しかも産まれて間もないのに自分の足で一生懸命立とうと力強く踏ん張っていました。そんな様子を見て、ほっとしたのと同時に、新たな命の誕生をこんなに間近で見られるのはすごい仕事だと感動しました。

この1年間、多くの勉強会に参加し、暑熱対策、繁殖管理、出産前後の母牛の健康管理など数多くの事を学びました。しかし、酪農、乳牛について知れば知るほど奥が深いと実感しています。そのため、これからも勉強会等に積極的に参加し、得た知識を実践に生かせるように、できることをさらに増やしていきたいと思っています。そして、初めに感じた感動を忘れず、楽しみながら日々の作業に丁寧に取り組みたいと思っています。

## 『目指す姿』

今年、農業高校を卒業しJAえちご上越で畜産の業務を担当しています。

高校では畜産科の豚班を専攻し、出産から出荷、販売までの一連に携わりました。年々畜産に関して興味を持つとともに、たくさんの命の尊さを学びました。また、家畜審査競技大会で全国大会に行き、和牛の素晴らしさ楽しさを感じ、大きな刺激や、貴重な経験となりました。

そして、地域の方々や上越市の畜産農家さんからたくさん応援され恵まれた環境の中で畜産を学ぶことができました。その恩返しとして少しでも、次は自分が支える立場になりたいという思いや、もっと地元の畜産に携わりたい、力になりたい、この貴重な経験を生かしたい気持ちがあり、また、地元の畜産に携わることに意味があると思っていました。

そして、その思いが実現できている今、自身の知識も経験も浅く、生産者の方々から教わる事が多くありますが、ひとつひとつの経験を大切に積み重ね、力を蓄えつつ発揮していきたいと思っています。少しでも早く大切な生産者さんのため貢献できるよう精一杯努め、生産者さんを支えられる存在を目指していきます。



笹ヶ峰牧場での作業風景

## 畜産安心ブランド生産農場だより

新発田市：小野 洋平

先ずは自己紹介をします。

- ・ 給食約3,500人分の生乳を出荷する酪農家
- ・ 昭和55年生まれ、細かいことが気になるO型
- ・ 川東中学→北越高校→富士大学（卓球部一筋）
- ・ 卒業後すぐ跡取りに（二男なのに…笑）
- ・ 人様の役に立つ経営を信条に日々奮闘中
- ・ 妻の話を上の空で聞いていつも怒られ…（汗）
- ・ スイーツ男子（あんこ&生クリーム♥）

こんな私ですが、今後の目標や夢はありません。

「目標達成型の人生」よりも、与えられた役割を受け入れて、目の前のことを一生懸命にやる「天命追求型の人生」を歩んでいきます。

目の前の人、目の前の牛を、私がどう行動したら喜ばすことができるのか。日々、そんな事を考えている変人なのです。

本題の「安心」についても今回を機に自問してみました。「安心」＝「人間力」だと思っています。あなたに頼みたい、あなたでないとダメ、あなたに相談すれば何とかしてくれる、と思われる信頼性だと思えます。

牧場の場合は、あなたが搾った牛乳が飲みたい、あなたの堆肥が欲しい、あなたに畑を管理してもらいたい、あなたの牧場が見たい…そんな理想に向かい、今後も行動し挑戦し、先祖、両親、先輩から受けた恩を次世代に送っていきます。



牧場名を書いたロールと小野さん

## 新役員紹介

理事3名の欠員による役員選任について、平成30年10月10日に書面にて臨時総会を開催し、全会員の同意（賛成）により以下のとおり選任されました。

役名	氏名	所属
理事	水倉 朗	新潟県信用農業協同組合連合会代表理事理事長
理事	井上 久	新潟県酪農業協同組合連合会代表理事会長
理事	井畑 明彦	胎内市長

### ～にいがた和牛15周年キャンペーン開催中～

クイズ正解者のうち抽選で45名様に県内の「にいがた和牛取扱指定店」12店舗で使える「にいがた和牛引換券」（5千円分～1万5千円分）が当たるキャンペーンを開催しています。ふるってご応募ください！

#### クイズ応募期間

平成30年10月1日（月）～平成30年10月31日（水）

#### 引換券利用期間

平成30年12月1日（土）～平成30年12月31日（月）

ご応募は下記のアドレス又はQRコードで「にいがた和牛推進協議会」ホームページをご覧ください！

<http://niigata-chikusan.jp/publics/index/161/>



詳しくは、PC等で

にいがた和牛



## 編集後記

今年は自然災害が非常に多い夏であったことは記憶に新しいと思います。西日本を中心とした豪雨、台風21号、北海道胆振東部地震など、テレビ映像を観て被害の大きさに胸を痛めました。そして全国的な猛暑は新潟県内にも影響があり、暑熱被害は採卵鶏・ブロイラーを中心として約6,300万円の被害額となりました（7～8月：新潟県農林水産部畜産課発表）。そして何と、8月23日には胎内市で最高気温40.8℃を記録して気象庁発表の歴代最高気温で全国6位にランキングされています。

「猛暑の年は大雪になる」とネット上で噂になっているのをよく見ます。本当かは???ですが、あと1～2ヵ月もすれば県内で雪が降り始めます。冬に備えて、早めに寒さ対策の準備をしましょう！！

（谷川 記）